

意見書

まみい・キッズこども園 園長殿

園児氏名

病名「

」

年 月 日 から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので登園可能と判断します。

年 月 日

医療機関名

医師名

印

※こども園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、子どもたちが一日快適に生活できることが大切です。感染しやすい期間に配慮し、下記の感染症について意見書の提出をお願いします。子どもの健康状態が回復し、園での集団生活に参加できる状態となってから登園するようご配慮ください。

○医師が記入した意見書が必要な感染症

感染症名	主症状	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹(はしか)	発熱、咳、鼻水、目の充血等。口の粘膜に白斑。発熱の3~4日後に全身に発疹	発症1日前から発疹出現後の4日後まで	解熱後3日を経過していること
インフルエンザ	突然の高熱、悪寒、食欲不振、頭痛、関節痛、咳、咽頭痛、鼻水、嘔吐、下痢など	症状がある期間(発症24時間前から発症後3日程度までが最も感染力が強い)	発症後5日を経過し、かつ解熱後3日を経過していること
新型コロナウイルス感染症	発熱、呼吸器症状、頭痛、倦怠感、消化器症状、鼻水、味覚異常、嗅覚異常など	発症後の5日間	発症後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過すること※無症状感染者の場合は検体採取日を0日目とし、5日を経過すること
風しん	38℃前後の発熱。全身にかゆみを伴う発疹。耳の後ろ、後頭部、首のリンパ節が腫れる。	発疹出現の7日前から7日後くらい	発疹が消失していること
水痘(水ぼうそう)	斑点状の赤い丘疹が出現し、水疱となる。発疹は顔や頭部に出て、全身へ拡大する。	発疹出現1~2日前から痂皮形成まで	すべての発疹が痂皮(かさぶた)化してから
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発熱、両耳の下(唾液腺)が腫れて痛む。片側が腫れた数日後に反対側が腫れてくることが多い	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過し、かつ全身状態が良好になっていること
結核	微熱、咳、疲れやすさ、食欲不振が2週間以上続く	-	医師により感染の恐れがないと認められていること
アデノウイルス感染症 咽頭結膜熱(プール熱) 流行性角結膜炎(はやり目) アデノウイルス胃腸炎 等	高熱、喉の腫れ(扁桃腺炎)、咽頭痛、結膜炎、咳、鼻水、腹痛、下痢など	発熱、充血等の症状が出現した数日間 胃腸炎は症状のある間と、症状消失後1週間	感染力が非常に強いため、発熱、充血等の主症状が消失したあと2日を経過していること はやり目場合は、結膜炎の症状が消失していること 胃腸炎の場合は、嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
百日咳	コンコンと咳き込んだ後息を吸うと「ヒュー」という音が出る特有な咳が長期間続く。	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失し、全身状態が良好であること又は適正な抗菌性物質製剤による5日間の治療が終了していること
腸管出血性大腸菌感染症(O-157・O-26・O-111等)	激しい腹痛、頻回の水様便、さらに血便が出る。発熱は軽度	-	医師により感染のおそれがないと認められていること。(無症状病原体保有者の場合、2回以上連続で便から菌が検出されないこと)
急性出血性結膜炎	強い目の痛み、目やに、白目の充血、結膜下出血	-	医師により感染の恐れがないと認められていること
侵襲性髄膜炎菌感染性(髄膜炎菌性髄膜炎)	発熱、頭痛、嘔吐。急速に重症化する	-	医師により感染の恐れがないと認められていること

※感染しやすい期間を明確に提示出来ない感染症については(-)としている。